

報道関係者各位

令和8年9月18日

照会先

医政局地域医療計画課

災害医療対策専門官 中村 斐子 (2558)

災害医療係 上田 北斗 (2548)

(代表番号) 03-(5253)-1111

(直通番号) 03-(3595)-2185

病院の耐震改修状況調査の結果

令和7年における病院の耐震改修状況調査の結果を取りまとめましたので、公表いたします。

【令和7年調査結果のポイント】

- 病院の耐震化率は、82.1%（6,596病院／8,030病院）
（令和5年調査では、80.5%）
- このうち、地震発生時の医療拠点となる災害拠点病院及び救命救急センターの耐震化率は、97.2%（761病院／783病院）
（令和5年調査では、96.0%）

※調査結果は、令和7年10月に各都道府県に対して行い、病院の耐震化の状況を取りまとめたものです。

《回答率》全病院：100.0%（8,030病院／8,030病院）

災害拠点病院及び救命救急センター：100%（783病院／783病院）

（参考）耐震化に関する目標

- ・ 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（平成30年12月14日閣議決定）において、令和2年度までに病院全体の耐震化率を80.0%とする目標を定めており、令和5年度に達成しました。

- ・ 調査対象：医療法第1条の5に規定する病院
- ・ 調査時点：令和7年9月1日
- ・ 調査結果：「別紙」のとおり

(1) 病院の耐震化の状況

調査病院数	回答病院数	全ての建物に耐震性のある病院数 (A)	一部の建物に耐震性がある病院数 (B)	全ての建物に耐震性がない (注) 病院数 (C)	建物の耐震性が不明である病院数 (耐震診断を実施していない病院数) (D)
8, 0 3 0	8, 0 3 0	6, 5 9 6	5 0 0	2 8 5	6 4 9

(注) 耐震性がない建物とは、昭和56年以前に建築された建物であって耐震診断の結果 I_s 値0.6未満(震度6強程度の地震により倒壊又は崩壊する危険性がある。)の建物をいう。

(2) 災害拠点病院及び救命救急センターの耐震化の状況

調査病院数	回答病院数	全ての建物に耐震性のある病院数 (A)	一部の建物に耐震性がある病院数 (B)	全ての建物に耐震性がない病院数 (C)	建物の耐震性が不明である病院数 (耐震診断を実施していない病院数) (D)
7 8 3	7 8 3	7 6 1	2 0	2	0

(3) 都道府県別の病院の耐震化の状況

「別紙」

	都道府県	調査病院数	回答病院数	全ての建物に耐震性 がある病院数 (A)	一部の建物に耐震性 がある病院数 (B)	全ての建物に耐震性 がない病院数 (C)	建物の耐震性が不明である病院数 (耐震診断を実施していない病院 数) (D)	耐震化率((A)／ 回答病院数)
1	北海道	526	526	413	19	25	69	78.5%
2	青森	87	87	72	6	4	5	82.8%
3	岩手	91	91	75	5	3	8	82.4%
4	宮城	134	134	121	2	4	7	90.3%
5	秋田	64	64	59	0	1	4	92.2%
6	山形	66	66	62	2	0	2	93.9%
7	福島	126	126	87	15	7	17	69.0%
8	茨城	168	168	136	11	4	17	81.0%
9	栃木	106	106	85	10	3	8	80.2%
10	群馬	127	127	112	7	0	8	88.2%
11	埼玉	341	341	268	13	17	43	78.6%
12	千葉	289	289	245	24	2	18	84.8%
13	東京	632	632	520	24	30	58	82.3%
14	神奈川	332	332	278	20	15	19	83.7%
15	新潟	114	114	96	9	2	7	84.2%
16	富山	103	103	98	2	2	1	95.1%
17	石川	89	89	75	3	3	8	84.3%
18	福井	67	67	55	3	0	9	82.1%
19	山梨	59	59	50	4	0	5	84.7%
20	長野	120	120	101	7	2	10	84.2%
21	岐阜	94	94	79	4	3	8	84.0%
22	静岡	167	167	155	7	3	2	92.8%
23	愛知	304	304	254	21	13	16	83.6%
24	三重	92	92	81	4	3	4	88.0%
25	滋賀	58	58	46	6	0	6	79.3%
26	京都	161	161	116	17	6	22	72.0%
27	大阪	497	497	391	34	27	45	78.7%
28	兵庫	344	344	265	30	15	34	77.0%
29	奈良	74	74	63	7	2	2	85.1%
30	和歌山	81	81	66	7	5	3	81.5%
31	鳥取	43	43	37	2	0	4	86.0%
32	島根	46	46	44	2	0	0	95.7%
33	岡山	156	156	123	13	6	14	78.8%
34	広島	227	227	188	23	10	6	82.8%
35	山口	136	136	105	18	3	10	77.2%
36	徳島	101	101	86	5	4	6	85.1%
37	香川	84	84	67	9	4	4	79.8%
38	愛媛	132	132	111	6	6	9	84.1%
39	高知	117	117	95	13	4	5	81.2%
40	福岡	442	442	350	23	18	51	79.2%
41	佐賀	95	95	77	6	2	10	81.1%
42	長崎	141	141	108	16	6	11	76.6%
43	熊本	198	198	166	11	6	15	83.8%
44	大分	149	149	136	5	3	5	91.3%
45	宮崎	129	129	108	7	2	12	83.7%
46	鹿児島	231	231	190	15	8	18	82.3%
47	沖縄	90	90	81	3	2	4	90.0%
		8030	8030	6596	500	285	649	82.1%

(4) 都道府県別の災害拠点病院及び救命救急センターの耐震化の状況

「別紙」

	都道府県	調査病院数	回答病院数	全ての建物に耐震性 がある病院数 (A)	一部の建物に耐震性 がある病院数 (B)	全ての建物に耐震性 がない病院数 (C)	建物の耐震性が不明である病院数 (耐震診断を実施していない病院 数) (D)	耐震化率((A)／ 回答病院数)
1	北海道	34	34	34	0	0	0	100.0%
2	青森	10	10	9	0	1	0	90.0%
3	岩手	11	11	11	0	0	0	100.0%
4	宮城	16	16	16	0	0	0	100.0%
5	秋田	13	13	13	0	0	0	100.0%
6	山形	7	7	7	0	0	0	100.0%
7	福島	12	12	10	2	0	0	83.3%
8	茨城	18	18	18	0	0	0	100.0%
9	栃木	13	13	12	1	0	0	92.3%
10	群馬	17	17	17	0	0	0	100.0%
11	埼玉	22	22	22	0	0	0	100.0%
12	千葉	27	27	27	0	0	0	100.0%
13	東京	84	84	83	1	0	0	98.8%
14	神奈川	35	35	33	2	0	0	94.3%
15	新潟	14	14	14	0	0	0	100.0%
16	富山	9	9	9	0	0	0	100.0%
17	石川	11	11	11	0	0	0	100.0%
18	福井	9	9	9	0	0	0	100.0%
19	山梨	11	11	10	1	0	0	90.9%
20	長野	13	13	13	0	0	0	100.0%
21	岐阜	13	13	13	0	0	0	100.0%
22	静岡	23	23	23	0	0	0	100.0%
23	愛知	38	38	36	2	0	0	94.7%
24	三重	17	17	16	1	0	0	94.1%
25	滋賀	11	11	11	0	0	0	100.0%
26	京都	13	13	13	0	0	0	100.0%
27	大阪	18	18	16	2	0	0	88.9%
28	兵庫	20	20	19	1	0	0	95.0%
29	奈良	7	7	6	1	0	0	85.7%
30	和歌山	10	10	10	0	0	0	100.0%
31	鳥取	4	4	4	0	0	0	100.0%
32	島根	10	10	10	0	0	0	100.0%
33	岡山	12	12	11	1	0	0	91.7%
34	広島	19	19	17	2	0	0	89.5%
35	山口	15	15	13	2	0	0	86.7%
36	徳島	11	11	11	0	0	0	100.0%
37	香川	10	10	10	0	0	0	100.0%
38	愛媛	8	8	8	0	0	0	100.0%
39	高知	12	12	12	0	0	0	100.0%
40	福岡	33	33	32	1	0	0	97.0%
41	佐賀	8	8	8	0	0	0	100.0%
42	長崎	14	14	14	0	0	0	100.0%
43	熊本	17	17	17	0	0	0	100.0%
44	大分	14	14	14	0	0	0	100.0%
45	宮崎	13	13	13	0	0	0	100.0%
46	鹿児島	14	14	14	0	0	0	100.0%
47	沖縄	13	13	12	0	1	0	92.3%
		783	783	761	20	2	0	97.2%

<参考> 病院の耐震化状況の推移

病 院	回答病院数	全ての建物に耐震性のある病院数 (耐震化率)	一部の建物に耐震性がある病院数	全ての建物に耐震性がない病院数	建物の耐震性が不明である病院数
平成 17 年調査	6, 843 (100. 0%)	2, 494 (36. 4%)	2, 482 (36. 3%)	1, 209 (17. 7%)	575 (8. 4%)
平成 20 年調査	8, 130 (100. 0%)	4, 132 (50. 8%)	2, 694 (33. 1%)	1, 010 (12. 4%)	294 (3. 6%)
平成 21 年調査	8, 611 (100. 0%)	4, 837 (56. 2%)	2, 595 (30. 1%)	98 (1. 1%)	1, 081 (12. 6%)
平成 22 年調査	8, 541 (100. 0%)	4, 846 (56. 7%)	2, 541 (29. 8%)	279 (3. 3%)	875 (10. 2%)
平成 24 年調査	8, 531 (100. 0%)	5, 235 (61. 4%)	2, 016 (23. 6%)	268 (3. 1%)	1, 012 (11. 9%)
平成 25 年調査	8, 524 (100. 0%)	5, 476 (64. 2%)	771 (9. 1%)	118 (1. 4%)	2, 159 (25. 3%)
平成 26 年調査	8, 493 (100. 0%)	5, 687 (67. 0%)	729 (8. 6%)	122 (1. 4%)	1, 955 (23. 0%)
平成 27 年調査	8, 477 (100. 0%)	5, 880 (69. 4%)	719 (8. 5%)	131 (1. 5%)	1, 747 (20. 6%)
平成 28 年調査	8, 464 (100. 0%)	6, 050 (71. 5%)	704 (8. 3%)	141 (1. 7%)	1, 569 (18. 5%)
平成 29 年調査	8, 411 (100. 0%)	6, 130 (72. 9%)	674 (8. 0%)	141 (1. 7%)	1, 466 (17. 4%)
平成 30 年調査	8, 362 (100. 0%)	6, 231 (74. 5%)	664 (7. 9%)	123 (1. 5%)	1, 344 (16. 1%)
令和元年調査	8, 311 (100. 0%)	6, 318 (76. 0%)	633 (7. 6%)	113 (1. 4%)	1, 247 (15. 0%)
令和 2 年調査	8, 254 (100. 0%)	6, 382 (77. 3%)	619 (7. 5%)	100 (1. 2%)	1, 153 (14. 0%)
令和 3 年調査	8, 222 (99. 9%)	6, 467 (78. 7%)	586 (7. 1%)	99 (1. 2%)	1, 070 (13. 0%)
令和 4 年調査	8, 085 (100. 0%)	6, 425 (79. 5%)	572 (7. 1%)	110 (1. 4%)	978 (12. 0%)
令和 5 年調査	8, 143 (99. 9%)	6, 552 (80. 5%)	543 (6. 7%)	106 (1. 3%)	942 (11. 6%)
令和 7 年調査 (今回調査)	8, 030 (100. 0%)	6, 596 (82. 1%)	500 (6. 2%)	285 (3. 5%)	649 (8. 1%)

【病院のうち、災害拠点病院及び救命救急センター】	回答病院数	全ての建物に耐震性のある病院数 (耐震化率)	一部の建物に耐震性がある病院数	全ての建物に耐震性がない病院数	建物の耐震性が不明である病院数
平成 17 年調査	545 (100. 0%)	236 (43. 3%)	257 (47. 2%)	45 (8. 3%)	6 (1. 1%)
平成 20 年調査	565 (100. 0%)	331 (58. 6%)	209 (37. 0%)	22 (3. 9%)	3 (0. 5%)
平成 21 年調査	598 (100. 0%)	373 (62. 4%)	205 (34. 3%)	7 (1. 2%)	13 (2. 1%)
平成 22 年調査	630 (100. 0%)	417 (66. 2%)	203 (32. 2%)	7 (1. 1%)	3 (0. 5%)
平成 24 年調査	671 (100. 0%)	490 (73. 0%)	169 (25. 2%)	3 (0. 5%)	9 (1. 3%)
平成 25 年調査	683 (100. 0%)	538 (78. 8%)	103 (15. 1%)	3 (0. 4%)	39 (5. 7%)
平成 26 年調査	691 (100. 0%)	568 (82. 2%)	89 (12. 9%)	5 (0. 7%)	29 (4. 2%)
平成 27 年調査	712 (100. 0%)	604 (84. 8%)	88 (12. 4%)	1 (0. 1%)	19 (2. 7%)
平成 28 年調査	726 (100. 0%)	636 (87. 6%)	76 (10. 5%)	0 (0%)	14 (1. 9%)

平成 29 年調査	734 (100.0%)	656 (89.4%)	66 (9.0%)	0 (0%)	12 (1.6%)
平成 30 年調査	742 (100.0%)	673 (90.7%)	64 (8.6%)	0 (0%)	5 (0.7%)
令和元年調査	749 (100.0%)	692 (92.4%)	53 (7.1%)	0 (0%)	4 (0.5%)
令和 2 年調査	763 (100.0%)	714 (93.6%)	47 (6.2%)	0 (0%)	2 (0.3%)
令和 3 年調査	771 (100.0%)	729 (94.6%)	42 (5.4%)	0 (0%)	0 (0%)
令和 4 年調査	778 (100.0%)	742 (95.4%)	35 (4.5%)	0 (0%)	1 (0.1%)
令和 5 年調査	778 (100.0%)	747 (96.0%)	30 (3.9%)	0 (0%)	1 (0.1%)
令和 7 年調査 (今回調査)	783 (100.0%)	761 (97.2%)	20 (2.5%)	2 (0.3%)	0 (0%)

(注 1) 平成 17 年調査は、四病院団体協議会・厚生労働科学研究班による調査

(注 2) 耐震化率は全ての建物に耐震性のある病院数を回答病院数で除したもの。

(注 3) 建築物の耐震改修の促進に関する法律が改正され、階数 3 かつ床面積 5,000 m²以上の病院は耐震診断を行うことが義務化されたことを踏まえ、平成 25 年調査から、昭和 56 年以前（建築基準法改正前）に建築された建物で耐震診断をしていない建物がある病院は、「耐震性が不明な病院」として整理している。